

速報データを使用しているため今後修正されることがあります。

台風12号に伴う

日光砂防事務所管内の被災状況



大谷川(霧降大橋より上流 9月2日7時頃)

平成23年9月2日17時 現在

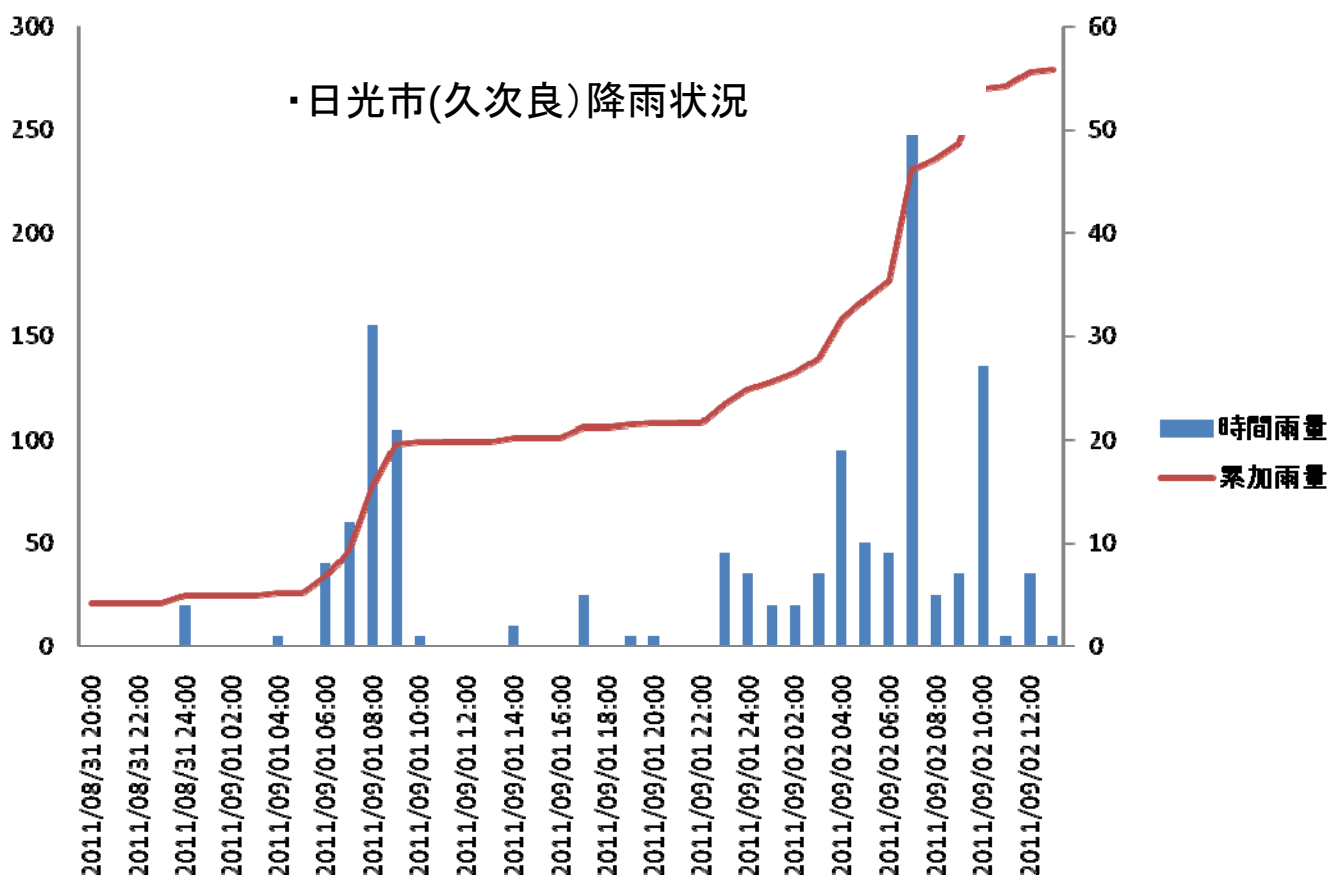
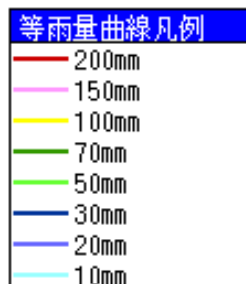
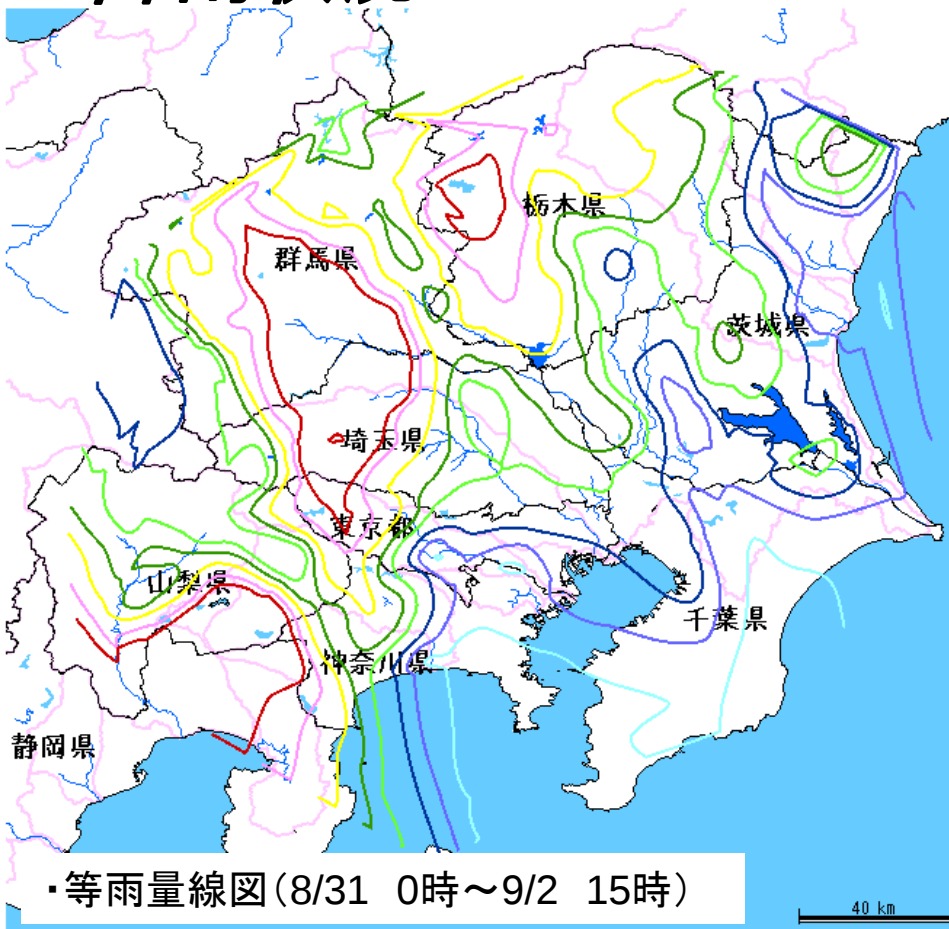
国土交通省 関東地方整備局 日光砂防事務所

気象の状況

■降雨状況

8月31日0時～9月2日15時の63時間雨量は、栃木県日光市や群馬県～埼玉県などで累加200mm以上の降雨となりました。

日光砂防事務所管内では、久次良雨量観測所で降り始めから2日15時までの累加雨量が283mmに達し、土石流発生限界雨量を超えています。



日光砂防 風水害対策支部

■支部設置

日 時	支部体制	理由
9月1日 18時00分	注意体制	久次良雨量観測所において、雨量が 警戒基準雨量 に迫っており、また今後更なる降雨が予測されているため。
9月2日 6時30分	警戒体制	久次良雨量観測所において、雨量が 避難基準雨量 を越えたため。
9月2日 8時00分	非常体制	久次良雨量観測所において、 土石流発生限界雨量 を超え、また管内の 早川谷ワイヤーセンサー が2日7時30分に作動し土石流が発生した可能性が高ため。
9月2日16時30分	警戒体制	稲荷川の点検の結果、一部に法面崩落等があるものの施設に大きな被害は無く既存施設の効果が見込まれ、現状では 重大災害の可能性は低い と考えられるため。

■管内の点検結果

日光砂防事務所では、警戒体制以降、管内の施設点検や工事現場の安全確認等を行っています。

9月2日15時時点、稲荷川工事用道路(写真の右側に稲荷川第6堰堤があります。)で法面崩壊がありました。このため、現在、この工事用道路を通行止めにしていきます。



稲荷川工事用道路 法面崩落

早川谷 土石流ワイヤーセンサー

稲荷川上流部において土石流を観測しました

写真1



写真2



平成23年9月2日6時

平成23年9月2日7時

早川谷上流砂防堰堤に設置している土石流ワイヤーセンサーにより土石流を感知しました
センサーは土石流により破壊されています。

稲荷川第10上流砂防堰堤における土砂補足状況

写真3



平成23年6月撮影

写真4



平成23年9月2日

台風12号による土砂堆積想定ライン

稲荷川では多くの砂防施設が配置されており、上流で発生した土石流は砂防施設により補足され、下流の日光市街地では被害は報告されていません。

(お知らせ) 稲荷川ハイキングコースの通行止め

稲荷川工事用道路は、砂防堰堤群ハイキングコースとしても利用されていますが、今回、コース脇の法面が崩落したことから、当面の間、「通行止め」とします。



通行止め状況
(稲荷川第10砂防堰堤側)



通行止め状況
(崩落箇所 下流側)

通行止め状況
(天狗沢砂防堰堤側)



(参考)基準観測所と早川谷ワイヤーセンサー

日光砂防事務所管内の**久次良雨量観測所**、**早川谷ワイヤーセンサー**、**法面崩落箇所**の位置は、下図のとおりです。

